

# 韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校  
第 150 号

総務部  
2016.10.14

旋盤で技能検定 2 級に合格  
エコカー部山人会賞受賞  
ものづくり競技会に参加して  
レスリング部・野球部の活躍

## 国家技能検定 2 級に合格

平成 28 年度前期技能検定・機械加工・普通旋盤作業 2 級に本校の電子機械科 3 年齊藤新太君が合格しました。技能検定 2 級合格は本校初の快挙であり、最初の挑戦から 7 年越しの待望の目標達成となりました。

課題は丸棒の内径・外径、段付き、テーパ、ねじ切り等の各加工を旋盤で切削し、オス・メス 2 つの部品の組み合わせを 3 時間（標準時間）で仕上げるという作業内容です。仕上がり寸法に対する精度は厳しいところで 3/100mm（寸法公差）以内、材料を取り付ける際に「芯出し」が必要であること、部品の一部に決められた精度で偏心させる加工面があることなどから難易度の高さがうかがえます。この課題を時間内で完了させることは極めて高い熟練度を要しますが、齊藤君は 1 年生の 10 月から同作業 3 級を目指して練習を始め、2 年生の 7 月に合格しました。その後 3 年生の 4 月から 2 級の課題練習に取り組み、課題研究や放課後の課外、夏休みを利用しての自主練習を積み重ねこの度の結果に至りました。



（齊藤君の話）実技練習では課題を 10 セット以上製作しました。途中心が折れそうになった時もありましたが何とか頑張ることができました。検定前日はそれまで相当量の練習を重ね

たため、ある程度の自信もついたので「早く検定を受けたい」という、わくわくした気持ちでいっぱいでした。実技試験の当日は緊張もしましたがなぜか楽しく作業することができ、ほぼ練習通りの時間・仕上がり内容で課題が完成しました。学科試験の出来が心配だったので、合格の知らせを聞いたときは涙が出そうなほど嬉しかったです。チャレンジしてみて本当によかったです。今後はこの技術を仕事で生かしていきたいと思います。

## 今年も快走エコカー部

本田宗一郎杯エコノパワー燃費競技全国大会（10 月 1・2 日）にエコカー部が出場しました。



走行時の気温が高く、記録は 997 km/1 と昨年より低下してしまいましたが、他のチームも同様に高温の影響で低下したこともあり、順位は過去 2 番目の 16 位（136 台参加）でした。

また今年も、山梨県内の学術文化の向上発展に寄与した功績が認められ、「財団法人 山人会」より最高の賞である「山人会賞」をいただくことができました。エコカー部は 3 年前にも、ノーベル賞受賞の大村智先生より「科学アカデミー賞」をいただいでい

ますが、これらの賞に恥じないように今後も活動を続けていきたいと思っています。

## ものづくり競技会に出場して

山梨県工業教育研究会主催の電気工事に関する実技コンテスト（電気工事コンテスト）山梨大会が、8 月 11 日に甲府工業高校で行われました。本校からは、電気科 2 年吉川裕真君・森健一郎君、システム工学科 3 年町田裕哉君の 3 名が出場しました。3 名は 900mm×1800mm の作業版内に与えられた課題を正確に、6



0分という制限時間内に完成させ、その動作確認を行うコンテストで2年生吉川君が2位になりました。また、8月27日には神奈川県で行われた関東大会に、山梨県代表として参加しました。この大会は作業版の大きさが県内大会の2倍、作業時間も120分と長いため、集中力を切らさず緊張感と戦いながらの作業となりました。練習では1時間40分で仕上げた課題も、本番では1時間58分と制限時間ぎりぎりまでかかってしまいました。大会独特の空気に飲まれたこともあり、16名中8位という結果でしたが、来年の課題も見えた挑戦となりました。来年は山梨で関東大会が行われます。地元開催という強みを生かし、上位入賞に向けての頑張りに期待します。

## 全国グレコローマン選手権優勝

インターハイ（フリースタイル）の疲れが残る中、1週間ほどの体重調整を行った後8月17日～19日に大阪府堺市で行われた全国高校生グレコローマンスタイル選手権大会に本校より6名が参加しました。結果は、66kg級の安楽龍馬君が予備戦から7試合を勝ち抜き見事優勝を勝ちとりました。決勝戦の相手は、JWA（レスリングアカデミー）所属の選手で昨年の国民体育大会グレコローマン



の覇者、今年の全国選抜とインターハイも優勝した選手でした。対戦相手が絶対有利という下馬評の中、相手の仕掛けた巻き投げをかわしたタイミングで上手く押さえ込みそのままフォール勝ち、インターハイ準決勝のラスト10秒での逆転負けの悔しさを晴らす優勝でした。一方、インターハイ50kg級優勝の稲葉海人君は、4回戦で春のジュニアオリンピックカップで勝利した相手に2度投げられ、まさかのテクニカルフォール負け。その相手が決勝へ進出したことで敗者復活戦へ進み3試合を勝ち抜き3位入賞。怪我を押し出た主将の矢部和希君は60kg級4回戦敗退、55kg級清水翔斗君、84kg級古川裕貴君は2回戦敗退、84kg級笹本雅人君は1回戦敗退という結果でした。秋の国体に向け更なる精進を期待したいと思います。

## 高校野球秋季大会でベスト8

第69回秋季関東高校野球山梨県大会が9月3日（土）から10月2日（日）までの間、山日YBS球場、富士北麓公園野球場において開催されました。

本校野球部は、開幕戦の9月3日（土）第1試合に登場し、序盤の大量リードを迫いつかれるも後半突き放し15-8（7回コールド）で身延高校に快勝、初戦を突破しました。2回戦は9月10日（土）富士北麓球場で行われ、甲陵高校と対戦し8-1（8回コールド）で勝利しました。3回戦は9月18日（日）山日YBS球場でシード校の富士学苑高校と対戦しました。葦工打線が爆発し13安打で9点をあげ、終盤追い上げられるも9-6で逃げ切りました。県大会でのベスト8進出は38年ぶり、秋季大会では41年ぶりの快挙を達成しました。

41年ぶりのベスト4進出、46年ぶりの関東大会出場をめざした準々決勝は、9月25日（日）に行われました。過去甲子園出場5回でシード校の市川高校を相手に、初回先制パンチで3点先行するもののその裏に大量7点を失点し、10-3で敗れました。



現チームは先発メンバーに一年生が6人も名を連ねる若いチームですが、38年ぶりのベスト8は自信になるとともに、今後の飛躍が大いに期待できる戦いとなりました。

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail [info@nirasakith.kai.ed.jp](mailto:info@nirasakith.kai.ed.jp)